

# 海でおこる謎を スクープ!

～台風から私たちが学ぶこと～

活動期間

2019年7月24日～26日

■ 青島小学校5・6年生



11月3日(日)限定企画!

JFL 第26節  
テゲバジャーロ宮崎

ソニースポーツ X  
ソニー仙台FC

ごみを拾って  
オリジナルトートバッグを  
GETしよう!

- ①海プロブースでゴミ袋をもらおう!  
※個人・グループ参加OK!
- ②試合終了後、ごみを海プロブースに  
持ってきて、トートバッグと交換しよう!  
※トートバッグは数に限りがあります。



オリジナルトートバッグ

## 海と日本プロジェクトとは?

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、ときに心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子供たちをはじめ全国の人たちが「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、日本財団、総合海洋政策本部、国土交通省の旗振りのもと、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

宮崎エリアの事務局をつとめるMRT宮崎放送では、子供たちに地域の海について学んでもらう体験イベントを夏休みの7月24日から26日の3日間、宮崎市の青島周辺で実施しました。



▲取材先のひとつとなった青島、港の交番

## イベントのねらい

宮崎県は台風の被害を受けやすい地域として「台風銀座」と呼ばれてきました。その「台風」を海の学びの入り口として、宮崎の海の魅力を知ってもらおうのがこのイベントのねらいです。

参加してくれたのは宮崎市の青島小学校の5・6年生の計19人。まずは毎日新聞宮崎支局の宝満志郎支局長から、新聞を作るための「取材の仕方」「記事の書き方」「紙面のまとめ方」を学びました。手作りの名刺に腕章そして取材ノートを手にも、気分はすっかり新人記者! 4つ班に分かれ、海にふれるさまざまなイベントを体験しました。

最終日には、新聞記者として取材し学んだことを、班ごとに「海の新聞」にまとめました。効果的な見出しや写真の使い方も教わり、自分たちだけの新聞が完成! 慣れ親しんだ地元でどんなスクープを見つけたのでしょうか?

子供たちの活動の様子は  
QRコードからアクセス!



子供たちの  
新聞は裏面へ

